

■テーマ

「みんなで話そう、やさしい福岡の未来
～保健福祉を考える～」

	第1回	第2回
日付	11月15日(土)	11月19日(水)
参加者数	19名	19名

■プログラム

1 保健福祉総合計画及び事業の紹介

2 グループワーク

① 身の回りの福祉に関する気づき
「良いと思う」と「課題だと思う」ことについて
自由に意見を出し合う



② 他のグループの話を聞く
メンバーが入れ替わりながら、相互理解を深める



③ 新たなアイデア、気づきをまとめる
他のグループ意見を参考に最初のグループで
共有・意見交換

3 発表



■参加者からの主な意見

健康・医療	<ul style="list-style-type: none">・健康づくりに関するイベントは多いが、注目度が低い・要介護状態になる前の予防的取組みを強化すべき・病院が多く、どこに行けばいいかわからない・生活習慣病について学ぶ機会がない・市からの情報が市民まで届いていない
地域福祉	<ul style="list-style-type: none">・「福岡100」や「認知症フレンドリー」などは活動名がおしゃれで参加しやすいが、当事者の声をもっと理解する工夫が必要・都市化により地域にとけ込む手段がない人が孤立している・地域を支える人が少ない・公民館の仕組みが分かりにくく、使いにくい・地域の特色を活かした施策がない・地域活動の認知度が低い・災害が起こった時の対応が不安・相談先が分からない
障がい者福祉	<ul style="list-style-type: none">・障がいについての情報発信や当事者と交流することが必要・音声案内のある横断歩道が少ない・公共施設や病院、観光名所に手話通訳者が少ない・障がい児の受け入れができる保育園が少ない・インクルーシブ教育を進めてほしい・夜間対応のサービスが少ない・重度障がいがある人が安心して暮らせる取組みの充実が必要
高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none">・ふらっと行っておしゃべりできる場が少ない・介護人材不足、介護の魅力発信が課題・デジタル技術をうまく使えない高齢者のサポートが必要・災害時の対応について、情報共有の場が必要・多世代交流の機会が少ない・高齢になると耳が聞こえにくくなるので、文字情報でのコミュニケーションができるよう、文字認識装置などが整備されるとよい・高齢者や介護に関わる機会が少ない